

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

## 「IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)」全体表

No.	タイトル	評価項目	利用者個票からの転記(自己評価のA、B、C、Dを記入)									記述
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
<b>IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>												
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	B	B	C	C	D	B	B	B	B	ご本人のペースに合わせながら出来るだけ思いに寄り添った暮らしが出来る様にしている。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	C	C	B	C	C	A	B	B	B	今までの生活様式などご家族にお聞きしたり、今までの習慣を継続して頂けるようにしている。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	B	B	B	B	B	A	B	B	B	ご家族への状態報告、かかりつけ医への受診などを行える様に支援した。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	B	B	B	C	D	A	C	B	B	出来るだけご自分のペースで生活して頂けるように情報を提供し、円滑に動けるように協力している。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	C	C	A	C	C	C	B	A	B	馴染みの物などの持ち込みなどはあまりできていないが、大切にしているもの、事柄を身近に感じて頂けるように努めている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	B	C	B	B	B	B	C	B	B	自由に外に出られる様になったり、模様下野などの事前の声掛けなどを行い希望に添える様にしている。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	B	B	B	B	D	B	B	B	B	皆様で協力しながら家事仕事や、掃除、日々暮らしで必要な事を行えるようにしている。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	B	B	B	B	C	B	B	B	B	活動の場面の提供を行いいきいき過ごせる様に支援している。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	C	D	B	B	C	B	D	B	B	馴染みのお店を利用して頂いたり、ご家族と協力して行えるようにしている。
49	総合	本人は、この QH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができています	B	B	B	B	C	B	B	B	B	出来るだけより良い日々を送って頂けるように職員で情報を共有したり、皆様と協力して生活していける様に支援している。

## 目標達成計画

作成日: 令和 5 年 3 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬の飲み忘れや配薬ミスが無いように、職員ダブルチェック体制をマニュアル化しているが、薬が変更になった時や臨時薬などが出た際に周知ができていないことがあり、ミスになることがあった。</li> <li>薬ケースに情報を書き直すことが遅くなりたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員のミスによる事故は無いようにする。</li> <li>薬に情報は常に最新であること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬事故がないようにこれまでの事故を振り返り、職員のミスによる事故はないように手順をしっかりと行う。声を掛け合いながら配薬をする。</li> <li>薬が変更になった際には即日に情報を修正し起床時の水分摂取や乳製品など、排泄につながりやすい食品を食材に取り入れ、自然な排泄をしてもらう。</li> </ul>	3ヶ月
2	31	<ul style="list-style-type: none"> <li>便秘の方が多く、薬に頼らない自然な排泄ができるように取り組みを強化しなければならない。</li> </ul>	薬に頼らずとも自然な排泄ができる方が増える。		6ヶ月
3	40～47	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍でご家族と会う機会が少なく、情報が不足しておりアセスメント不足になっている。外出の機会が少なく地域や友人との交流も少ないことなどで安心してより良い日々の生活支援が不足しているのが現状である。</li> </ul>	担当職員の一人一人が入居様の情報を収集し、楽しみを増やしていけるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当職員が個別に不足している情報を収集し、できることややりたいことの実現をしていく。</li> <li>コロナ禍で我慢していることをできるように支援する。</li> <li>馴染みの関係性や大切にして物などご家族からお聞きし環境面等も充実させるなど、個別の</li> </ul>	10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。